

平成30年度決算報告

平成30年度は、まち・ひと・しごと創生総合戦略及び第4次長期総合計画後期基本計画の中間年であり、未来に向け立案してきた計画を具現化するため、持続可能な財政運営を維持しながら、まちの魅力と活力を生み出す投資に重点を置きました。

一般会計を中心とした普通会計の数値で報告しますと、普通交付税の減少などにより地方交付税が前年度比1億1,236万円減、普通建設事業費の減などで国庫支出金が同比11億727万円減、市債が同比9億7,935万円減など、歳入全体で20億9,106万円の減少となりました。

一方で、新市民会館建設事業や高所放水車整備事業などの完了により普通建設事業費が前年度比21億6,759万円減、病院事業会計貸付金の皆減などにより投資及び出資金・貸付金が同比2億7,475万円減、公債費が同比1億4,858万円減など、歳出全体で22億9,994万円の減少となり、翌年度に繰り越すべき財源3億8,523万円を差し引いた実質収支は5億8,682万円の黒字となりました。

(注) 普通会計：地方公共団体ごとに各会計の範囲が異なるため、各団体間の財政比較や統一的な把握ができるよう地方財政統計上、統一的に用いられる会計区分。

平成30年度各会計の決算

(単位:万円)

会計区分	歳入	歳出	差引
一般会計	1,342,408	1,245,204	97,204
特別会計			
国民健康保険	425,014	391,425	33,589
初島財産区	756	612	144
漁業集落排水事業	5,889	5,883	6
介護保険	323,343	309,658	13,685
後期高齢者医療	75,523	74,434	1,089
合計	830,525	782,012	48,513
企業会計			
上水道事業	収益的 56,547	42,940	13,607
	資本的 15,274	42,291	△27,017
病院事業	収益的 293,490	294,215	△725
	資本的 14,713	28,989	△14,276

健全化判断比率等の公表

(単位:%)

区分	実質赤字比率 (一般会計の赤字割合)	連結実質赤字比率 (すべての会計を合算した赤字割合)	実質公債費比率 (一般会計における借金の実質負担割合)	将来負担比率 (一般会計において将来負担すべき借金の割合)
健全化判断比率	-	-	10.3(△0.7)	-
*早期健全化基準	13.97	18.97	25.0	350.0
*財政再生基準	20.00	30.00	35.0	-

【公営企業】

区分	上水道事業	病院事業	漁業集落排水事業
資金不足比率	-	1.1(△1.6)	-
*経営健全化基準	20.0	20.0	20.0

(注) 赤字や資金不足がない場合「-」と表示。

() 内は平成29年度数値との増減。

*早期健全化基準や経営健全化基準を超えると、健全化計画の策定が義務づけられ、財政再生基準を超えると、財政再生団体として国の関与を受けて財政の再建に取り組むこととなります。

決算額を家計に置き換えると・・・

(市民1人あたりの決算額) 27,988人(H31.3月末現在)

歳入	家計では	平成30年度1人あたり(円)
市税、分担金及び負担金、使用料、手数料、寄付金、諸収入	給料・ボーナス等	188,940
財産収入	財産売却や賃貸収入	1,193
繰越金	前年からの繰越	15,584
繰入金	貯金の取り崩し	26,170
地方交付税、国・県支出金、地方譲与税、各種交付金	親からの援助等	228,185
市債	借入金	19,377
歳入の合計	収入の合計(前年度)	479,449 (542,607)

歳出	家計では	平成30年度1人あたり(円)
人件費	食費等	76,884
義務的経費	医療費・教育費等	78,051
扶助費	借金の返済	44,051
公債費	光熱水費や電話代、衣料・日用品代等	68,960
物件費	自宅の補修費等	3,575
維持補修費	自治会ほか各種会費等	69,145
補助費等	自宅の増改築費、家具購入費等	21,574
投資的経費	子どもへの仕送り等	48,957
繰出金	貯金	27,130
積立金	株式投資や事業への出資・貸付等	6,392
投資及び出資、貸付金	支出の合計(前年度)	444,719 (515,908)
歳出の合計		

借金と貯金	平成30年度決算額	平成30年度1人あたり
市債(借入金)残高(前年度)	99.0億円(105.2億円)	35.4万円(36.8万円)
財政調整基金(貯金)残高(前年度)	26.8億円(28.5億円)	9.6万円(10.0万円)



Arida Information

～有田市からのおしらせ～



人口・世帯数
【令和元年12月1日現在】
人口 27,760人(前月比-27人)
男 13,203人 女 14,557人
世帯数 11,748戸

おしらせ

紀州っ子いっぱいサポート事業

10月からスタートした「幼児教育・保育の無償化」に加え、次の助成を実施しています。

①保育料・食材料費助成

第2子以降の保育料・食材料費を助成します。

※第2子については所得制限あり
対象施設 保育所、幼稚園、認定こども園、児童発達支援センター等、認可外保育施設等

※助成内容は対象施設ごとに異なります。

②育成支援助成

小学生以下の児童を3人以上養育している方を対象に、対象事業を利用した場合に要する費用を助成します。

※小学校入学前の児童に係る費用のみが対象

実施日	健診場所	申込締切日
1月19日(日)	保健センター	1月8日(水)
1月30日(木)	J A ありだ 宮原支所	1月16日(木)
2月2日(日)	保健センター	1月22日(水)

受付時間 8時～9時

※すべて無料です。

※事前に予約が必要です。

お電話にてお申込みください。



健診を受けて1年をスタートしましょう!

対象事業 ファミリー・サポート・センター事業、病児保育事業、一時預かり事業、子育て短期支援事業
※詳しくは市ホームページをご覧ください。
福祉課 TEL22-35224

ママと赤ちゃんが笑顔になる講座

毎日しているだっ!。ちょっとした体の使い方、こんなに変わる。ママと赤ちゃんが笑顔になる、そんな時間を体験しませんか?

日時 2月12日(水) 10時～12時
場所 保健センター

対象 生後10か月までの赤ちゃんとそのお母さん(有田市民に限る)

定員 20組(定員を超えた場合は抽選)
講師 ちひろ助産院 大平昌子先生

持ち物 バスタオル1枚、タオル1枚、飲み物、保険代50円、運動できる服装

申込期間 1月8日(水)～2月3日(月)
申・問 保健センター TEL82-32233

特定健診

対象者 今年度40～74歳の有田市民
入者
項目 問診・診察・身体測定・血圧測定・尿検査・心電図・血液検査

がん検診
対象者 今年度40歳以上になる有田市民
※受診できる検診は、がん検診受診券に記載していますので、ご確認のうえお申込みください。

検診種別 胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・肝炎ウイルス

健康課 TEL22-35112
保健センター TEL82-32233

後期高齢者医療制度に加入の皆様へ
健康診査は2月末日まで受けることができます。

受診券をお持ちの方で、まだ健康診査を受けていない方は、この機会にぜひご自身の健康状態をチェックしましょう。

健康診査
対象者 75歳以上の方、65歳以上75歳未満で一定の障害があり、広域連合の認定を受けられた方

検査項目 問診、計測、診察、脂質、肝機能、尿、腎機能、代謝系

実施場所 受診券と同封している実施医療機関一覧に記載されている医療機関

費用 無料
歯科健康診査(対象の方には5月末に受診券等を発送しています。)

対象者 平成31年3月末で75歳、80歳、85歳の方と90歳以上の方

検査項目 問診、口腔内検査、口腔機能検査

実施場所 受診券と同封している実施医療機関

令和元年度
市県民税(第4期)
国民健康保険税(第7期)
後期高齢者医療保険料(第7期)
介護保険料(第7期)
納期限は1月31日(金)です。

有田市プレミアム付商品券
購入引換券をお持ちの方へ
商品券の販売期限が近づいてきます。購入をご希望の方は、必ず期間内の購入をお願いします。また、既に商品券を購入された方は、利用期限に注意してご利用ください。

販売期間 2月28日(金)まで
販売場所 市役所3階 産業振興課
利用期限 3月15日(日)まで
問 産業振興課 TEL22-36224

家屋の取り壊しをした方へ
平成31年・令和元年中に家屋の取り壊しを行った方は、令和2年度からの固定資産税がかからないようにするため、1月31日(金)までにその旨の連絡をお願いします。

税務課 TEL22-35882
和歌山県後期高齢者医療広域連合 TEL073-4228-66888

療養機関一覧に記載されている医療機関費用 無料
※受診券等の紛失や不明な点があれば、左記までお問い合わせください。